

学校名 羽生市立井泉小学校
所在地 羽生市藤井上組270
電話 048-565-2320

1 本校の概要

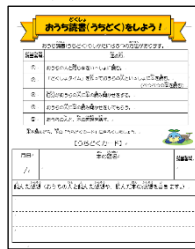
本校は、今年で開校150年目を迎えた歴史と伝統ある学校である。全校児童305名、14学級に加え、通級指導教室を併設し、特別支援教育のニーズに対応した明るく開かれた学校である。今年度は、校舎の大規模改造工事があり、学校図書館も2、3学期は閉館している。そのため、司書教諭、情報主任を中心に全教職員でアイデアを出し合い、児童の読書活動が継続できるように取り組んでいる。



2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 各教科等における学習に結び付けた取組
- ・ その他（一人一台端末の活用）



(2) 実践の概要

ア 秋の読書月間の取組

めあて

たくさん本を読んで『大好きな1冊』を増やそう

取組内容

- ① 各自で読書を進める。
- ② 自分にとって1番心に残った本（チャンプ本）を選ぶ。
- ③ クラスでチャンプ本を紹介し合う。
- ④ お互いのチャンプ本を読み合う。

個人→クラス全体で共有→個人という手順を取ったことで、友達のチャンプ本に興味を示し、普段は手に取らない分類の本を読む児童も見られた。また、本を通して自然な形で意見交流を行う姿も見られた。

イ 授業者のねらいに応じた並行読書の選定

当該単元の指導のねらいをよりよく実現するために、教科書教材と関連させて、計画的に並行読書を行った。

担任から授業のねらいや授業構想を聞き、司書教諭・学校司書が授業者の意図に沿った図書を選定した。

国語	P13~30 ちいちゃんのかげおくり	場面を比べながら読み、感想を書こう。	9月下旬~	☆初めて戦争の話を読むのど、戦争の想像がつかない子が多いので、 戦時中の話 あまんきみさんの本を並行読書させたいです。
----	-----------------------	--------------------	-------	---

ウ 読書ビンゴ

学期に1枚取り組んだ。（3×3マス）

「先行学習として」「良書に親しむ」「幅広いジャンルに触れる」というねらいのもと、各教科の単元に関連する本、国語の教科書で紹介されている本、推薦図書などを選定した。

エ 一人一台端末の利用

本年度は校舎の大規模改造工事のため、2学期以降は、学校図書館の本の貸出ができなかった。そこで、読書活動が継続できるように、一人一台端末を利用した。（電子図書館『Yomokka』利用）

『Yomokka』は「いつでも、どこでも、好きなだけ！」をコンセプトに、児童の読書環境を支え、新たな読書体験を提供することを目指した、読み放題型電子図書館である。読書はもちろん、様々な本と出会える機能を搭載しており、児童の読書の幅を広げることができた。

クラスで自分のチャンプ本を紹介する際も、一人一台端末の学習アプリの機能を活用し、クラス全体で共有した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 学校図書館は閉館しているが、電子図書を取り入れることで、児童の読書に対する意欲が継続した。
- ・ 担任が授業で並行読書を取り入れることを意識したことにより、授業展開に広がりが見られた。

(2) 課題

- ・ 学校図書館が読書センターの役割に偏りがちなので、学習・情報センターの役割も果たせるような学校図書館の経営を行いたい。